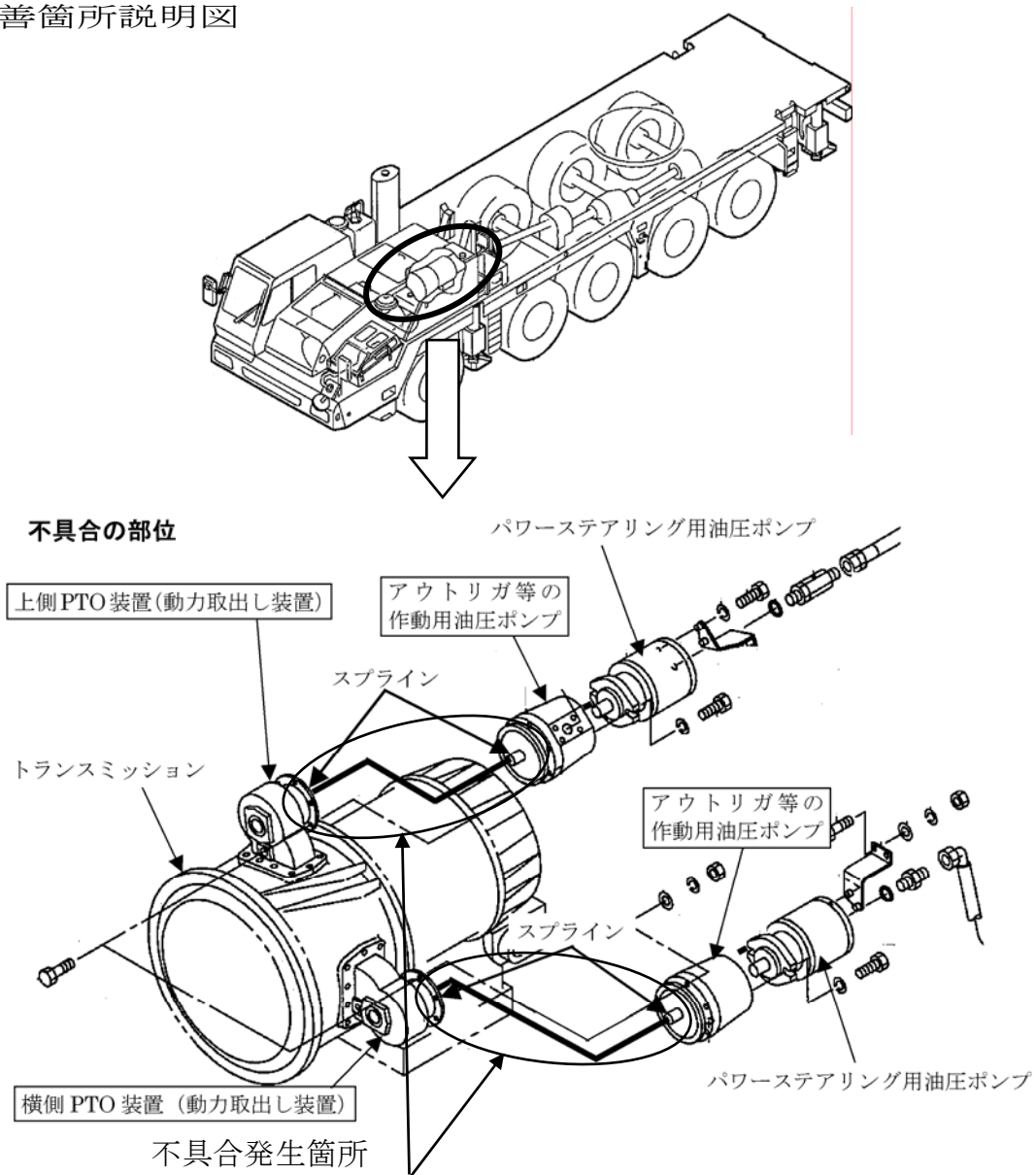


改善箇所説明図



PTO装置（動力取り出し装置）とアウトリガ等の作動用油圧ポンプの接合部の防水構造が不適切であり、また当該PTO装置からの動力を当該油圧ポンプへ伝えるスプラインに塗布するグリース量が不足しているため、スプラインに錆が発生し、そのまま使用を続けると、当該スプラインが摩滅するものがある。そのため、当該油圧ポンプ及びパワーステアリング用油圧ポンプが作動しなくなり、アウトリガの作動及びサスペンションのオイル量の調整ができなくなるとともに、トランスミッション用オイルの冷却ファンが作動せず、オイルの温度が上昇して警告灯が点灯するおそれがあり、また、ハンドル操作力が増大するおそれがある。

改善の内容

全車両、PTO装置及びアウトリガ等の作動用油圧ポンプを新品と交換し、スプライン部へのグリースの塗布と接合部のシーリングを追加する。

注： 内は交換部品を示す。